

## 5. その他の分野：教育・研究分野への女性の参画

### (1) 教育・研究分野への女性の参画の実態

オランダでは、高校、大学に進学する男女の割合はほぼ同等で、大学によっては、女子の進学率の方が男子よりも高いところもある。しかしながら、学歴の高い女性が必ずしも卒業後高いポジションに就くとは限らず、教育・研究分野においても、女性の教授や研究者が少ないことが問題視されている。オランダでは、大学における女性教授の割合を、現在の11%から2010年までに15%に上げることを努力目標として掲げている。

オランダの全教職者における女性比率は約65%と、他の産業分野に比べて高い割合を示している。この女性比率はここ数年では60%台の半ばで推移しており、目立った変化は見られない。

図表 2-22 教職者における女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性教職者数 (千人)	教職者総数 (千人)
2000	64.7	314	485
2001	64.3	305	474
2002	63.5	310	488
2003	64.0	316	494
2004	63.8	330	517
2005	65.6	330	503
2006	65.4	334	511

出典：Statistic Netherlands "Beroepsbeve; behaalde onderwijs naar herkomst geslacht en lftd. 2000-2006" <http://statline.cbs.nl/statweb/> (蘭語)

一方、研究者の女性比率は約3割である。一時期2002年～2004年には34%程度にまで上昇したが、その後減少し、2007年現在の研究者総数における女性比率は30%となっている。

図表 2-23 研究者\*における女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性研究者数 (千人)	研究者総数 (千人)
1996	28.5	136	478
1997	30.0	156	520
1998	30.2	166	550
1999	31.3	176	563
2000	31.3	185	591
2001	31.7	172	542
2002	33.7	187	555
2003	34.6	198	572
2004	33.2	174	524
2005	36.1	197	546
2006	28.5	219	578
2007	30.0	229	608

※"Wetenschappelijke beroepen (Scientific professionals)"の定義はILOの国際標準職業分類(ISCO88)による。

出典：Statistic Netherlands "Beroepsbevolking; geslacht en leeftijd"  
<http://statline.cbs.nl/statweb/> (蘭語)

## (2) 教育・研究分野への女性の参画に関する取組

オランダにおける教育分野は、最も女性の進出が進んでいる分野の一つであり、全教職者における女性比率も6割を超えている。しかしながら教授や准教授職など高いポジションの教職に就く女性の比率はまだまだ少ないと指摘されてきた。加えて、女性研究者率も低い現状もある。こうした状況を踏まえ、教育・研究分野への女性参画を促進するため、オランダは以下の取組を推進している。

### ①アスパジア・プログラム (Aspasia program)

「アスパジア・プログラム」は、学術分野における女性の採用及び地位向上を推進する教育文化科学省の政策である。同プログラムでは、修士号を取得した女子学生を、卒業後1年以内に教授或いは講師として採用した大学、またはそのような女子学生を教職ポジションに推薦した大学には10万ユーロのボーナスが供与される。また、講師や外部の教師を、

大学の教授或いは准教授として推薦した場合にも、その大学はボーナスを得ることが出来る。同省は本プログラムのために、2008年度予算として20件分に相当する200万ユーロを割り当てている。

## ②ジェンダー主流化政策

「ジェンダー主流化政策」は、女性教授の数を増やすイニシアティブとして、アムステルダム大学（Universteit van Amsterdam）やナイメーゲン大学（Universteit Nijmegen）で行われている政策で、大学教授を雇用する際に何故その人を採用したかという理由を公表するというものである。ジェンダー主流化政策を行う大学は、教授の採用理由として、性別ではなく、採用された人の能力、資質、適性がいかに他の候補者より優れているかを明示する必要がある。

## ③女性教授ネットワーク（Landelijk Overleg Emancipatie Kwaliteit in het Wetenschappelijk Onderwijs: LOEKWO）

オランダには、女性大学教授のネットワークとして「LOEKWO」が存在する。LOEKWOには様々な大学の女性教授が参加しており、本ネットワークを通じて女性研究者のスカウトを行い、大学の経営陣にスカウトした女性研究者を推薦するなどの活動を行っている。

## ④女性教授会

オランダの各大学には女性教授会が存在し、大学経営陣に様々な要求をすることが出来る。政府は各大学に女性准教授の割合を現行の7.7%から14%にまで上昇させるように要求しており、例えばナイメーゲン大学の女性教授会は同大学がこの水準を達成するよう、ジェンダー平等を推進する解放協議会と共に強く働きかけている。

## ⑤女子学生の理工系科目履修の奨励

オランダの研究者における女性比率は依然3割程度であるが、特にバイオテクノロジー及びエンジニアリング分野の技術者が不足している。また、同分野をはじめとする理工系科目の履修者や研究者に女性が少ないことも問題視されている。

このため教育文化科学省は、子どものうちから理数系科目や技術系科目に親しめるよう、特に11歳から14歳の子どもを対象としたプロモーション・プログラムを設けており、その予算として6,000万ユーロを投じている。これらのプログラムは「Science and Technology Platform」、「Glass Wall」等の名称で呼ばれており、学校と民間企業の協力に

よって行われている。同プログラムを実施する学校数は増加しており、現在 250 校が導入している。同プログラムにより、理工系分野を選択する学生が少しずつ増えており、その成果が現れつつある。

### (3) 今後の課題

オランダは男女共同参画が社会に広く根付いた国の一つだが、未だ女性の進出が進まない分野もある。その一つが科学であり、大学で科学を専攻する女子学生比率は一割程度に過ぎない。これは「科学は男性のもの」という考えが社会に根強く残っていることが大きな理由である。女性研究者も依然少なく、なかなかその数が増えないのが現状である。以前は女性研究者向けの特別資金もあったが、昨年度より打ち切られてしまったという<sup>35</sup>。これに対して各大学の女性教授は強く抗議している。上記を例とする取組を促進し、オランダ社会全体として教育・研究分野に参画する女性を育て、支援していくことが求められている。

---

<sup>35</sup> 教育文化科学省へのヒアリング調査より。

## 参考文献

- 労働政策研究・研修機構『2008 データブック国際労働比較』2008  
厚生労働省『今後の仕事と家庭の両立支援に関する研究会報告書』2008  
厚生統計協会『2008年国民衛生の動向』2008  
日本婦人団体連合会『女性白書 2007』2007  
日本労働研究機構『男性職場への女性労働者の進出に関する研究』2003  
正木祐司・前田信彦「オランダにおける働き方の多様化とパートタイム労働」法政大学大  
原社会問題研究所雑誌 No.535/2003.6  
長坂寿久『オランダモデル—制度疲労なき成熟社会』日本経済新聞社 2004

United Nations Development Programme. (2007) *Human Development Report 2007/2008. Fighting climate change: Human solidarity in a divided world*

Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women, United Nations. (2005) *Fourth periodic report of States parties, Netherlands.*

<http://daccessdds.un.org/doc/UNDOC/GEN/N05/236/02/PDF/N0523602.pdf?OpenElement>

Ministry of Education, Culture and Science. (2008) *Emancipation policy 2008-2011. More opportunities for women.*

Ministry of Education, Culture and Science. (2004) *The Netherlands Ten Years after Beijing* [http://www.emancipatieweb.nl/uploads/Wz/Pu/WzPuRyAX-i7eQcEa8hmHjQ/Netherlands\\_10\\_yrs\\_Beijing\\_drukversie.pdf](http://www.emancipatieweb.nl/uploads/Wz/Pu/WzPuRyAX-i7eQcEa8hmHjQ/Netherlands_10_yrs_Beijing_drukversie.pdf)